

# 青き楓

## 学校評価 特集

島高だより  
平成17年5号  
(通巻第11号)  
長崎県立島原高等学校  
編集：情報図書部

### 1 はじめに

本校の教育活動の向上のために学校評価を実施して3年目になります。本年度は10月に、教職員による自己評価、生徒・保護者による外部評価を行い、加えて生徒による教職員の授業評価も行いました。教職員及び生徒の評価は、2月に最終評価を行います。ここでは10月に実施した生徒・保護者による学校評価の結果を中心に報告いたします。

### 2 アンケート集約数

(1) 生徒アンケート回答数 795 (2) 保護者アンケート回答数 742  
※要望・意見等 91件 (3) 教職員アンケート回答数 61

### 3 評価基準

(1) 4段階評価 ※次の4段階(4～1)である

- ① 「4」 素晴らしい (十分達成できている)
- ② 「3」 やや素晴らしい (おおむね達成できている)
- ③ 「2」 あまり素晴らしい (どちらかという達成できていない)
- ④ 「1」 そう思わない (ほとんど達成できていない)

(2) 評価数値はすべて、全回答者の平均値である。



センター試験出陣式(1/20)

### 4 生徒アンケート

(1) 評価一覧 生徒アンケート集計結果(※資料1)  
(2) ベスト3

- ① 3.2 「生徒は、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。」
- ② 3.2 「文化祭や体育祭など、学校行事は充実している。」
- ③ 3.1 「授業中での評価や通知表の評価については納得できる。」

(3) ワースト3

- ① 2.2 「生徒は、地域の行事によく参加している。」
- ② 2.3 「授業後の復習は、必ずきちんと行っている。」
- ③ 2.5 「生徒は、環境美化に積極的に取り組んでいる。」

(4) 問題点等

① 確かに生徒は地域の行事に参加できる余裕はないようです。土・日の週休日にも、部活動はもちろん、土曜講座や各種の実力試験・模擬試験等が実施されています。  
② 「授業後の復習」の評価が悪いということは、自学それも家庭学習の習慣が確立されていないことを生徒自身が自覚していることを物語ります。教職員の評価でも「家庭学習最低3時間の習慣」の項目が最も悪く、家庭学習の時間をいかに確保するかが、今後大きな課題となって来ます。

### 5 保護者アンケート

(1) 評価一覧 保護者アンケート集計結果(※資料1)  
(2) ベスト3

- ① 3.5 「島原高校に入学させてよかった。」
- ② 3.4 「文化祭・体育祭など、学校行事は、感動的で充実している。」
- ③ 3.3 「学校の施設・設備は、充実していて満足できる。」

(3) ワースト3

- ① 2.8 「学校は、ボランティア活動に積極的である。」

- ② 2.8 「保護者は、PTA活動に協力的である。」
- ③ 2.8 「生徒は、環境美化に積極的に取り組んでいる。」

(4) 問題点等

① 生徒・保護者とも、「環境美化」への評価が悪いようです。校舎・校庭ともに新装なったばかりなのでさほど清掃しなくてもいいという油断があるとすれば問題があります。  
② 校庭の樹木は、季節とともに装いを改め、1日清掃しなければ、1日枯葉が積もります。環境美化は、毎日の取り組みこそ肝要であることを肝に銘じて、今後更に美化意識の浸透を図る必要があります。

### 6 教職員アンケート

(1) 評価項目 平成17年度の分掌・学年の努力目標から50項目について評価する。

(2) ベスト3

- ① 3.4 「ライブラリー(図書だより)を毎月発行し、図書情報を提供する。」
- ② 3.3 「学校行事・長期休業を見なおして年間35単位の授業時数を確保する。」
- ③ 3.3 「一校一役運動を計画的に推進し、全校生徒にボランティア活動を体験させる。」

(3) ワースト3

- ① 2.4 「授業の予習・復習を徹底させ、家庭学習最低3時間の習慣を身につけさせる。」
- ② 2.6 「成績中下位層の指導法について研究を進め、学力・意欲の二極化を防止する。」
- ③ 2.7 「生徒1課に基づき、学習及び部活動時間を厳守して、両立できる学校環境を確立する。」

(4) 問題点等

① 週5日制の導入とともに授業時数が減り、生徒学力の低下が懸念されたことは周知の事実です。本校では、45分7時限授業、夏季・冬季休業中の授業日設定(平成17年度は9日間)、学校行事の精選等により、授業時数を確保して、生徒学力の充実に努めております。  
② 平成15年の「長崎夢総体」の精神を継承して「一校一役運動」が始まって2年目になります。全校生による島原城の清掃活動、1年生による老人ホームや福祉施設の訪問交流、2年生による猛島海岸の清掃活動、年間3回のボランティア活動を計画的に実施しております。  
③ 生徒アンケートでもわかるように、「家庭学習最低3時間の習慣」を確立できていない生徒がいます。勉強する人・しない人、課題を提出する人・しない人の2極化が、1年次の夏休み明けからすでに明確になりつつあるようです。早急にご家庭と一緒に解決しなければなりません。

### 7 生徒による授業評価

(1) 授業評価シート (※資料2)

(2) 実施時期

- ① 3年生 6/20(月)～7/8(金) ※1学期末考査前後
- ② 1・2年生 10/6(木)～10/14(金) ※2学期中間考査後
- ③ 科目担当者により全講座において生徒のアンケート方式で実施した。

(3) 今後の課題

① 座学中心の5教科と体育・芸術等の実技中心の教科では評価内容が異なります。教科・科目の特色を踏まえた評価シートを開発する必要があります。  
② 授業評価を実施してもその後の授業に結果が反映されなければ意味がありません。評価結果を教師一人だけの固有の問題に留めないで、教科会で教科として対策を工夫する必要があります。教師相互の授業参観や研究授業を計画的に実施して教科指導力の向上を図ります。

### 8 保護者の要望・意見

(1) 授業・面談

<授業・面談等の改善>

- ① 「生徒の中には、授業に対する不安・不満を抱えている者が多いように思えます。生徒の向学心を損なうこと

(資料2) 生徒による授業評価アンケート

□年 □組 (男・女) 科目( )

良い授業は、生徒の意欲と教職員の熱意によって成立するものです。その観点から、より良い授業を目指してこのアンケートを実施します。生徒の皆さんは、日ごろの自分の授業態度も反省しながら、以下の質問について、該当する数字に○をつけてください。

| 1 自己評価 |     | [4]あてはまる              |  | [3]多少あてはまる |  | [2]あまりあてはまらない |   | [1]あてはまらない |   |
|--------|-----|-----------------------|--|------------|--|---------------|---|------------|---|
| 評価項目   | No. | 具体的評価内容               |  |            |  | (4)～(1)評価     |   |            |   |
| 意欲     | 1   | 毎時間の授業に積極的に取り組んでいる。   |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|        | 2   | 授業の予習を欠かさず行っている。      |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|        | 3   | 課題を含め授業の復習をしっかり行っている。 |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |

| 2 授業評価  |     | [4]あてはまる                     |  | [3]多少あてはまる |  | [2]あまりあてはまらない |   | [1]あてはまらない |   |
|---------|-----|------------------------------|--|------------|--|---------------|---|------------|---|
| 評価項目    | No. | 具体的評価内容                      |  |            |  | (4)～(1)評価     |   |            |   |
| (1) 進め方 | 4   | ポイントが的確に押えられ、先生の説明がわかりやすい。   |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|         | 5   | 先生の声の大きさやスピードが適当ではっきり聞き取れる。  |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|         | 6   | 先生が何を尋ねているのか、発問の意図がよくわかる。    |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|         | 7   | 板書がわかりやすく、黒板の使い方が工夫されている。    |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
| (2) 充実度 | 9   | 毎時間の学習のねらいと授業内容は、理解することができる。 |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|         | 10  | 授業を受けて自分から進んで学習しようという気持ちになる。 |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
| (3) 熟意等 | 11  | 先生の真剣さや熱意が伝わってくる。            |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|         | 12  | 資料やプリントが工夫されていて参考になる。        |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |
|         | 13  | ノートや課題の点検が適切で、質問には丁寧に答えてくれる。 |  |            |  | 4             | 3 | 2          | 1 |

3 先生の授業について

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

がないよう、指導者の資質の充実を望みます。」  
② 「やる気の出る楽しい授業をお願いいたします。全くわからない先生がいると、色々な方から聞くと大変不安に思えます。」

③ 「進学时(受験)にあつては、先生方の受験指導や授業内容の質等々の更なるレベルアップをお願いします。親というものは、自分の子供の能力はさておき、先生方に頼るものです。」

④ 「もう少し1人1人の生徒の悩みや指導に協力的に対応してほしい。特に3年生は受験などで先生方も大変だとは思いますが、初めての子供なので、いろいろ保護者とのコミュニケーションをとってほしいと願っています。生徒の意欲が出るような勉強方針、話し合い手になって下さい。島原高校に行ってよかったと実感できる子供であってほしいのです。」  
<ゆとりも必要>

⑤ 「勉強面でありながらもハッパをかけすぎない感じがする。生活全般にゆとりがないのはどうしたものか。もっと高校時代にしか経験できないこともあるのでは。家と学校の往復で精一杯の姿を見ると考えてしまいます。」

【対応】本校は長崎県の17年度「授業改善事業」の指定を受けて、生徒の学力充実を第1目標として取り組んでおります。前述のとおり、「生徒による授業評価」を実施して授業の問題点を把握するとともに、研究授業や研修会を開催して教職員の力量を高めているところです。

県の指導主事や他県の優れた先生を講師として招いた教科研修会では、授業前の目標設定と授業後の反省評価の進め方について学び、講師の熱意あふれる実践に示唆と刺激を受けました。

保護者面談については、「いつでもどうぞ」とは言いながら、保護者の方から特別に申し出ることはなかなか勇気が要るようです。2・3学期も「面談週間」を設けるなどして、担任と気軽に話せる雰囲気作りを努めたいと思います。

⑥ 「学校の成績というのは重要だと思いますが、生徒・先生ともに体力・精神力あまりに切羽詰ってゆとりがなく、限界ぎりぎりまで疲れているように見えます。」

(2) 進路指導

① 「生徒の進路計画に役立つ講演や指導をしてほしいと思います。また、子ども達の悩みについて、よいとは思いますが、さらに話を聞いてほしいと願います。」

② 「文理コース選択の説明会をもう少しわかりやすくして欲しいと思います。進路をなかなか決めることができない生徒も多いと思うので、具体的な職種の説明などをお願いします。」

③ 「高校での学習がすべて大学受験(特に国公立)のためのような方針が強くなってきている。親も結果を求めるのであろうが。今、何故、勉強するのか、この3年間の重みを教えてほしい。」

【対応】17年度は、先輩OBによる2回の青楓塾講演会、学年別の進路講演会を開催いたしました。年度末には、進級を控えて春休みの過ごし方等について1・2年生合同の講演会を開催する予定です。

文系・理系のコース説明会は、今後更にわかりやすいものにしていきます。しかし、基本は生徒自体の生涯設計、生きる目的の確立にあると思いますので、社会に貢献できる人材の育成を目指して、学力と誇りを付けたいと思います。

(3) 生活指導

<良好>

① 「他校に比べて制服の身なりもきちんと着用されているし、あいさつもよくできていると思います。これも、先生方の厳しい指導のおかげだと思い、感謝しています。」

② 「面談等で学校へ行った際、会う生徒一人一人が気持ちよい挨拶をしてくれるのは気持ちよく、学校の取り組みだろうと嬉しく思う。」

<問題点>

③ 「きちんと挨拶できる子もいるが、道を譲ってもいそがずダラダラ喋りながら歩く女子や、夏暑い日などスカートをめくり上げて、バス停などに座ってる子供が多く、がっかりさせられる。男子の方が意外ときっちりしている子が多い。女子達にもう少しキチンとしてほしい。」

④ 「体育祭の行事としては大変感動しましたが、女子生徒のハーフパンツのはき方はあまり見た目に良く感じませんでした。とくに2年生の女子に多く見られたようでした。まじめにしている生徒の中、少し見苦しいです。」

⑤ 「男子生徒の学生ズボンの件ですが、ウエストで着ずに、腰の部分で着てる子が目立ちます。服装の点検の際にはご注意ください!愛の(ある)叱責は生徒達も理解するはずですが、素行は服装に表れますから。」

【対応】「島原高校礼儀心得」を初めとする本校の「導入期の指導計画」は、県内はおろか全国的にも高く評価されています。北は北海道から南は沖縄まで、30校を超える学校訪問がありました。生徒指導と進学指導とバランスよく調和の取れた学校を目指して今後とも指導して行くつもりです。ご指摘の女子のスカート、ハーフパンツ、男子のズボンについては、見つけ次第直ちに指導して行きたいと思っておりますので、ご家庭のご協力をお願いします。

(4) 学級編制

① 「優クラ、準優、凡クラ、と生徒が言っていますが、このよび方はどうにかならないのでしょうか。不登校の生徒が生じる原因など研究されているのでしょうか。」

② 「クラスよっての学校側の取り組み方が(授業など)あまりにも差があるように思います。“優クラ”なるものが存在し、そうでないクラスとの差が大きいように感じます。子供達はみな頑張ろうという意思を持っています。子供にとって大事な時期ですので、生徒自身の問題だと片付けられることなく平等に伸びようとしている気持ちを大切にしていってほしいものです。」

【対応】普通科においては、2年次から文系・理系の進路希望に習熟度を加味して学級を編制しております。確かにこの学級編制で、やる気を喪失したり、やらないでいいと安心したりする生徒もいるようです。それが大なる誤解であることを繰り返し指導しているところです。

人にはそれぞれ得手・不得手があります。不得手を克服して生徒一人ひとりの学力を伸ばす目的から、習熟度別の授業及び学級編制は今後とも継続する予定です。

クラスの呼び方にご指摘のようなことがあるとすれば、とんでもない差別発言です。学力伸張のための一つの指導手段を人間そのものの価値判断として混同するようなことがあってはなりません。もしも教職員の指導姿勢に生徒の発言を助長するような「差」があるとすれば、言語道断です。誤解を招くことがないように学校ぐるみで改善に努めたいと思います。

(5) 理数科

① 「島原高校に理数科ができたことによって、平凡な進学校に花が咲いたような気がします。結果が出るには少し時間がかかるでしょうが、頑張っていたきたいです。そのためには医学部に行くなら理数科と言われるような推薦やそれに応じた授業内容を充実させ、島原高

【対応】理数科は、まだ3年目です。その設置の目的にかなったものにするためには並大抵のことではありません。今年度初めて卒業生が出ますので大いに期待しているところです。

「普通科についてアピール度が足りない」とすれば誠に遺憾です。島高100年の伝統と実績に裏打ちされた文武両道の「島高魂」を掲げ所として、厳しく鍛えて行きたいと思っております。

校に理数科あり、とこれから入学して来る生徒にも希望を与えてほしいです。」

② 「理数科に大変力を入れていらっしゃるのによくわかりますが、普通科ももう少し何かアピールできる指導をしていただければと思います。」

(6) 文武両道

① 「先生方、毎日遅くまでお疲れ様です。文武両道の校是のもと、進学面では県下のトップレベル、部活動でも全国を狙う部があることは、大変素晴らしいと思っています。今年は高総体では優勝はなかったですが、来年は是非また優秀な成績を残すことを期待しています。また、あいさつなどの指導も武道などで厳しくしていただき親として大変有難く思っています。今後ともビシビシ鍛えて下さい。」

② 「学習と部活動を両立させることはつらい時間が多いと思いますが、頑張って心身共に鍛えて、社会へ出た時には、きっと今つらかったことがいかされると思います。何事にも乗り越えて全力を尽くしてほしいです。勉強・学力もアップするのも大切ですが、交友関係、部活動を通じて、思いやりのある心をもってほしいです。」

③ 「入学し、早いものでもうすぐ卒業です。クラブと学習の両立も思うように出来ず、今、本人は死に物狂いで、他の生徒に追いつこうと頑張っています。非行に走る事もなく、充実した高校生活が送れるのも、先生方の御指導のおかげだと感謝しております。ありがとうございました。」

④ 「両立は本当に大変なようです。まだまだやる気が足りてないのでしょうか。部活からの帰りが遅いのが気になります。仕方ないと思う反面、あと少し早ければと思ったりします。」

⑤ 「掛け値なしに“文武両道”を実践している(しようと努力している)子供が多いとは思いますが、部の成績重視の為か、“文”の方をないがしろにした指導もあるのではないのでしょうか。もしかして島高の誇る文武両道は本物ではないのではと思う瞬間があるのも事実です。」

【対応】「文武両道」は本校の校是であり、これについて保護者の皆様の共感・激励・支援のお言葉が多かったことは喜びに耐えません。ただ生徒個人のレベルで見れば、その文武両道の現実には多様であり、多くの問題を抱えていることも事実です。掛け値なしの文武両道の理想を求めて、ひたむきに追い求めてゆく学校でありたいと思っております。

(7) 学校だより

① 「インターネットのWebを見ていますが、更新が遅いし、進学状況の結果がわからない。長崎西高レベ

平成17年度第15回全国高等学校剣道選抜大会  
長崎県予選大会男女優勝  
全国高等学校剣道選抜大会  
出場決定!  
(平成18年3月27日~28日)  
愛知県春日井市総合体育館)



ルのものにしてほしい。」

【対応】ご指摘のとおりです。今年度、回線の容量もアップして情報環境も整ってまいりましたので、内容の充実と迅速な更新に努めてまいります。

(8) 学校行事

① 「文化祭や体育祭を見させて頂きましたが、生徒が一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。本当にこの学校に入学させて良かったと思っています。」

② 「毎日楽しく登校している姿を見てうれしく思っています。色々な行事ごとに、自分の仕事に意欲的にまた、責任をもって取り組んでいる様子も伝わってきました。安心して送り出すことができることを喜んでます。よろしくお願い致します。」

③ 「文化祭に関しての日程の不満の声が多かったです。土、日の設定にできなかったのか、子ども達のがんばりを残念ながら見ることのできない保護者がいました。」

9 おわりに

【対応】文化祭・体育祭の2大行事の成功は嬉しい限りです。保護者の皆様も多数ご参観いただき誠にありがとうございました。今後とも「島高魂」の継承と発揚の場として生徒の企画・運営による生徒活動の充実を目指したいと思います。

学校行事の日程については、年間行事のバランスや授業時数の確保など、多方面から検討する必要があります。ご指摘のように保護者の参観は学校行事の性格からして重要な要件ですが、土・日開催は代休2日と併せて4日間の非授業日となります。現在の週5日制下では多くの学校が避けているところです。ただ長期休業中の授業日設定の弾力化等、新たな教育環境も出てきておりますので、行事内容の充実とともに日程の問題も更に検討を重ねたいと思っております。

多数のご意見・ご要望をお寄せいただきありがとうございました。保護者の皆様のご意見にはできる限りお答えしたつもりです。評価一覧表とともに読みいただければ幸いです。

学校評価は、本校の問題点を明らかにして教育改革を進めるために来年度も実施いたします。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。